

すぎもり No18 地区協議会 だより

令和5年(2023年)1月

No18

地区協議会

11月5日 すぎもり地区協議会防災訓練



『おかあさんの窓辺』

毎週、コーディネーターの藤澤さんが地域に咲く季節の花を活けています。ご来校の際にぜひご覧ください。お花の提供も大歓迎です。



命を守り 助け合おう 地域でつながり災害対策

「杉森小学校と地域をつなぐ」

地域コーディネーター 藤澤由利子・大町恵子

杉森小学校地域学校協働本部の活動を紹介します。簡単に言えば、学校と地域の方々をつなぐお仕事です。学習支援を始め、ちょっと大人の目がほしいなあという時の授業補助のボランティアなど、地域の方々に協力していただいています。

たとえば、家庭科のミシンの授業、ミシンなんて触ったことのない児童のフォローをしています。図工では、糸のこや彫刻刀を扱う時、手を傷つけないように見守っています。

11月には1・2年生の授業で、初めての試み『公園を巡るスタンプラリー』の際に、校区内の各所で交通安全の見守りを行いました。

また、昨年・今年と地域在住のソプラノ歌手・山本美樹氏をお迎えして、オペラとコーラスのミニコンサートをしていただきました。体育館から、歌いながら出てくる子どもたちの目がキラキラ輝いていました。



今年は合唱の指導もしていただき、杉森小学校50周年の記念式典ではきれいな歌声が響いていました。

このように、地域の方々の魅力を子どもたちの成長に活かす活動です。子どものために協力したいというお気持ちのある方は下記までご連絡ください。



ホームページアドレス <http://sugimori.net>

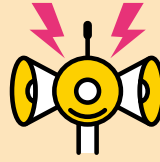
✉ chikukyo@sugimori.net



AEDの使い方～体験してみる



胸骨圧迫(心臓マッサージ)を学ぶ



11/5
(土)

3・4年生を対象に体験・訓練を行いました。

第7回すぎもり地区協議会防災訓練



通報訓練～自分の住所や火事の場所を言えるかな？



担架搬送訓練～平らな場所では足側を前にして運ぶ



応急手当訓練～身近な物を使って工夫



初期消火訓練～真剣です！



重量物移動訓練～滑車の原理を利用した綱引きで重さ3トンの車を動かせるよ



非常食展示～家族で意見を出し合いローリングストックを日常に取り入れよう



訓練終了～
本物の煙は
もっと怖い



煙体験～姿勢を低くして煙を吸わないように



避難所用のテント型の間仕切り～
約2畳の面積



マットの寝心地はどうか？



ガスパワー発電機体験～カセット
ガスボンベ2本+エンジンオイルで発電できるよ

調布消防署国領出張所
所長 小林利夫さん

令和4年4月に着任、
初めて参加しましたが、
地域の方々が熱心ですね。
訓練当日は10名が参加しました。
今後も地域の安心・安全のために
取り組んでまいります。



調布市消防団第7分団の
皆さん～いつもありがとうございます

【協力】 調布消防署国領出張所、調布市消防団第7分団、防火女性の会、NPO法人 災害救難活動、杉森地区連合会、健全育成推進杉森地区委員会、杉森小学校開放委員会、杉森小学校PTA

9/16
(金)

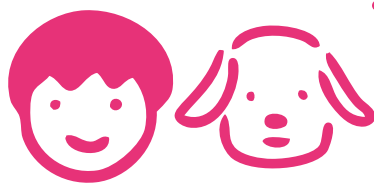
災害ボランティア 養成講座2022

～ペットの避難を考える～

調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター主催の災害ボランティア養成講座2022～ペットの避難を考える～(全4回)の第2回「地域が準備しているペットの避難について」と題して、すぎもり地区協議会ペット問題検討委員会が活動報告を行いました。

すぎもり地区協議会では、今後もペットの避難に関する取り組みを続けていきます。

At the time of disaster!
いっしょに
ひなん



すぎもり地区協議会

10/29
(日)

調布市総合防災訓練

染地西部自治会 会長 来田めぐみ

多摩川河川敷で行われた防災訓練に参加しました。

土砂崩れや倒壊家屋の下敷きになった人(人形)の救出、負傷者搬送、倒木撤去など、有意義な体験ができました。



連載 防災コラム

備えあれば ⑧

「自助と共助」 地域ネット担当 加藤洋子

日本は地理・地形・気象などの諸条件から、世界の中でも自然災害が発生しやすい国です。たとえば、日本の国土面積は世界全体の0.3%にも満たないが111もの活火山があり、世界の活火山の7%を占めています。マグニチュード6以上の地震の発生回数も累計212回(世界全体の20.5%)と格段に多いのです。

1995年1月の阪神・淡路大震災では初動体制の遅れで公助が間に合わず、倒壊家屋などからの脱出・救出のほとんどは自力もしくは家族・隣人・友人によるものでした。このことが自助・共助の大切さを見直すきっかけになりましたが、まずは自分の命を守りケガをしないことが一番。そのためには平常時に余裕をもって事前対策・予防対策を行うことが重要です。

(例) 自宅・職場の耐震補強、家具や大型家電の固定・落下防止、避難路・避難所の確認、安否確認の方法、備蓄品の準備(優先順位あり)、訓練など

災害の発生時や発生後の活動は、どうしても混乱を伴い余裕がない中での活動になってしまいます。自分が生き延びて、周りの人たちと助け合うために、平常時の対策に重きを置いて備えましょう。

『地域を知ろう』

根川のフラップゲート

(狛江市中和泉4丁目、玉翠園の石垣付近)



浸水被害を軽減するための逆流防止ゲート

■ 地域のおしらせ ■



杉森小学校50周年記念式典が行われました。

清水 史 校長先生より
 「令和4年8月29日学校だより」より抜粋
 「今年は創立50周年にあたります。地域、PTAの皆さんからなる『50周年実行委員会』が中心となり、様々な取り組みをしていただいております。特にこの8月、夏の暑い時に杉森山とひょうたん池の改修作業に取り組んでいただきました。おかげさまで、子どもたちが大好きな場所がこれからも安全に遊べるようになりました。ありがとうございました。」

11/13
 (日)

染地児童館まつり「そんめえ〜30祭」



地域の写真1万枚で作ったモザイクフォトアート



3年ぶりの児童館まつり、子どもたちが遊びを楽しみました。そんめえ〜のモザイクフォトアートを館内に展示中です。ぜひご覧ください。

10/21
 (金)

記念誌の表紙は、元杉森小教員で現在画家として活躍中の中川平一先生が飾ってくださいました。



福祉や介護に関する相談等は… 「調布市地域包括支援センターときわぎ国領」へ

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として調布市から委託を受けている機関です。担当地区は、染地、国領町6・7丁目、布田5・6丁目、多摩川6・7丁目です。お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、介護保険の申請や適切なサービス等をご案内しております。困った時にはお気軽にご相談ください。

所在地：国領町7-32-2 デュスモン国領101
 電話：050-5540-0860
 開所：月～土 9時～18時 夜間及び日曜は転送電話対応

【オンライン講座 参加者募集】

認知症の方へのケア手法「ユマニチュード」を学ぼう

「ユマニチュード」とは、フランスで専門家が開発した高齢者や認知症の方へのケアの技法です。フランス語で「人間らしさ」を意味し、認知能力が低下した高齢者に対し「見る」「話す」「触れる」「立つ」を4つの柱としたコミュニケーションを行います。参加は無料です、ご興味ある方はぜひ一緒に学びましょう！



- 日時** 令和5年1月7日(土) 10:00～11:00
- 内容** ユマニチュードとは何か、事例、質疑応答
- 場所** ZOOMを使用したオンライン開催
- 講師** 日本ユマニチュード学会 認定認定インストラクター
- 対象** テーマに関心があり、パソコン・スマホ等でZOOMが行える環境にある方
- 申込み** 【件名】1/7講座参加希望 【本文】①氏名 ②電話番号を記載したメールをお送りください。開催日前日までにZOOM招待メールをお送りします。 hokatsu@tokiwagi.org

参加費
 無料



生活の相談、仲間づくりの相談等は… 「調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター」へ

染地地域福祉センター改修工事中の活動移転先について

●『パソコン教室&スマホちょっと相談室』は「スマホに変えたら操作がわからない」「パソコンを買ったけど使い方が不安」というお悩みを気軽に相談できる場所、ボランティア団体による活動です。改修工事中は、多摩川住宅口号棟の集会室をお借りしています。

【月3回開催/予約制】 第1・第4金曜 14時～16時 第2土曜 13時30分～15時

●体操、パソコン、ひだまりサロンなどの活動も、周辺自治会の集会室やふれあいの家などをお借りして、多くが活動を継続しています。活動の移転先・詳細については、下記までご連絡をお願いいたします。

- 市民活動支援センター(国領駅) TEL 443-1220 火曜～土曜 9時～17時
 ボランティアコーディネーター 渡邊久美子
- 調布市総合福祉センター(調布駅) TEL 481-7693 月曜～金曜 8時30分～17時30分
 地域支え合い推進員 北島正也



「スマホちょっと相談室」の様子